

未承認新規医薬品等評価部門にて承認された医療提供に関する情報公開

本院の未承認新規医薬品等評価部門にて、下記の医療提供が承認されました。

対象となる方から個別に同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより、医療提供を行います。なお、本件について同意できない場合においても、あなた自身の診療において不利益を被ることはありません。

内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

実施内容	網膜硝子体疾患及び白内障手術における眼内組織染色目的でのインドシアニングリーンの使用
実施責任者	名古屋市立大学病院 病院長 松川 則之
承認日	2026 年 4 月 8 日
対象期間	承認日から永続的に ただし、内容の見直しの必要性が生じた際はこの限りではありません
対象者	網膜硝子体疾患の手術を受ける患者 白内障の手術を受ける患者
目的・意義	網膜硝子体疾患の手術において、治癒率向上を目的に網膜表面の内膜界膜という薄い膜組織を剥離する処置を行う場合があります。内境界膜は透明な組織のため、安全に剥離するために特殊な薬剤で染色して剥離を行います。 白内障手術において、前囊切開を完遂することは術中・術後合併症を防ぐうえで極めて重要ですが、前囊は透明なため、進行した白内障症例等で良好な視認性が得られない症例では、安全・確実に前囊切開することは困難です。
使用条件 実施条件	術中の視認性向上目的で、通常は染色剤としてブリリアントブルーG (ILM BLUE®) またはトリパンプルー (VISIONBLUE®) を使用します。染色のコントラストが低く、可視化が不十分な場合や、一部の眼内レンズを使用する症例は手術中にインドシアニングリーンを網膜もしくは水晶体前囊に塗布します。
想定される不利益 および対策	インドシアニングリーンは網膜や角膜に対する毒性についての報告があります。この毒性は薬剤濃度、暴露時間等に依存すると報告されていますので、可能な限り薬剤濃度は低く、暴露時間は短く設定し、染色後は薬剤を十分に洗い流します。適応症の眼底造影検査の目的で静脈内に注射する方法は、ヨ

	<p>ード過敏症の既往歴のある方には禁忌とされていますが、今回は低濃度かつごく少量を眼内に注入するため、そのリスクは少ないと推測されます。術中の視認性が確保できない状況で剥離操作をすすめることが難しく、インドシアニングリーンの使用が有用と判断される場合は、ヨード過敏症の既往がある方でも使用する場合があります。その他、予測できない症状を早期発見する為に、手術後は十分な検査・診察を行います。</p>
<p>本項の実施を拒否される場合</p>	<p>本項の実施内容を拒否される場合は、「医療拒否（オプトアウト）通知書」を記載先までご提出ください。</p> <p>なお、本件について同意できない場合においても、あなた自身の診療において不利益を被ることはありません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>名古屋市立大学病院 未承認新規医薬品等評価部門（医療の質管理課内） 〒467-8602 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地 電話 052-851-5511（代表）</p>

令和8年4月2日作成